

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月

作成者：(株)エックス都市研究所

 <p style="text-align: center;">おがこの製造工程</p>   <p style="text-align: center;">農作物</p>	【施設名称】
	【事業主体】 栃木県芳賀郡茂木町
	【所在地】 栃木県芳賀郡茂木町
	【運転開始年】
原材料および利用量	生ごみ（家庭生ごみ、事業系）、家畜排せつ物、落ち葉、もみ殻、おがこ
生産物（種類）	肥料
利用方法	農家に販売
導入目的・経緯	家庭生ごみ、家畜排せつ物、落ち葉、もみ殻、おが屑（間伐材）から堆肥を製造。落ち葉・間伐材等の回収において独自の取り組みを実施。
設備仕様	施設においては、発酵施設の臭気対策として、樹皮、おが屑堆肥等による吸着・微生物処理を行っており、環境への負荷の低減に配慮した施設となっている。
稼働状況	
経済性関連データ	落ち葉の回収に当たっては、約100人の協力者に専用の回収用袋を配布し、回収費用を提供（400円/1袋（0.25m ³ ）持ち込みの場合は430円）
導入効果	<p>環境保全型農業の推進、ごみリサイクルの推進、農産物の地産地消体制の確立、森林保全の推進等に総合的に貢献している。</p> <p>製造した堆肥は非常に需要が高く、同肥料を用いて栽培された農作物を認識するために「美土里堆肥栽培シール」を作成する等、農家の堆肥利用の促進、住民のリサイクル意識の高揚に貢献している。</p> <p>学校給食に用いる野菜・米は全て町内産を用いているが、同堆肥を利用した野菜の積極的な利用も推進しており、地産地消の取り組みとともに学校教育における環境教育の推進に貢献している。</p>
運営上の課題	
備考・参考資料	JORA 社団法人日本有機資源協会 利活用最良表彰 16年